

# 学校だより

明治3年3月3日創立

## 立川市立第一小学校



〈令和3年6月1日発行〉

【学校教育目標】

- 自分で考え 行動する子
- 心豊かで 思いやりのある子
- ◎ 体をきたえ 元気な子

校長 田中 光晴

〒190-0023 立川市柴崎町2丁目20番3号

TEL 042-523-4428

042-522-2114 (あおぞら学級)

FAX 042-529-0840

コミュニティ・スクール「家庭・地域とともに歩む教育活動の推進」URL <https://www.tachikawa.ed.jp/es01>

### “環境が人をつくる” ～ 6月「環境月間」に寄せて ～

校長 田中光晴

6月に入り、1学期も折り返しの時期になりました。先月の個人面談へのご協力有難うございました。緊急事態宣言の延長に伴い、ご家庭でも、引き続きお子様の健康観察へのご配慮をお願いします。

緊急事態宣言下ではありましたが、先月は、校外学習(2年)やファーレ立川見学(5年)、水道キャラバン(4年)を行いました。また全校行事としては、きょうだい班活動の他、NTTドコモ・読売防犯協会にご協力いただいたセーフティ教室、株式会社リーフラスのスポーツトレーナー6名が1時間ずつ全学年に行った体力向上授業等、どの行事も感染症対策に配慮して実施しました。昨年度は実施できなかった水泳指導についても、今までとは指導形態や実施回数は異なりますが、感染症対策を図りながら実施します。技能面の向上よりも水泳時の心得や水中での安全確保に重点をおいた指導を可能な限り行っていきたいと考えています。

さて、季節は6月。今月は「環境月間」で、国連では5日を「世界環境デー」と定め、世界中で環境保全に関わる様々な行事が催されます。地球規模の環境に思いを巡らせながら、まずは目の前の子供たちの環境に目を移してみると、子供たちを取り巻く生活環境は、家庭・学校・地域社会という分け方ができるでしょうか。いわゆる家庭教育・学校教育・社会教育と呼ばれる、児童に関わる教育主体の領域に当てはまります。「環境が人をつくる。」という言葉があります。長い期間、同じ環境で生活を共にしていると、知らず知らずのうちに話し方や考え方、嗜好等、価値観や生活スタイルまで似てくるらしいのです。私自身の家族を顧みても、思い当たる節が多分にあります(まあ、「遺伝でしょう」と片づけられる部分も多いですが…)。良くも悪しくも、幼少期の子供たちにとって、取り巻く環境から受ける影響には大きなものがあります。子供たちを育む我々大人が、日常における関わりの中で、その時々に応じて適切に判断し、最適な環境を与えて続けていくことの積み重ねが、「良き環境が良き人を作る。」ことに繋がるのだと考えます。

「子供たちにとって良い環境とは。」と問うてみて、簡潔に回答を得ることは難しいとは思いますが、「良い学校教育環境」と限定して考えるならば、常識的可能な範囲において、①安全・安心が確保され、②多様な興味・関心、個性や発達段階に対応でき、③知育・徳育・体育の側面に均衡に指導が行き届き、④社会性の醸成や既得の知識・技能を活用して適度な困難さを伴いながらも課題解決を図ることができる活動の場が用意され、⑤自身の成長や存在を肯定的に捉え、学習や生活への高いモチベーションを維持できる、等の環境と考えます。学校では日常の学習・生活指導の充実を基盤に、前述のセーフティ教室やきょうだい班活動等の多種多様な学校行事、学校外教育力の効果的活用、施設・設備面の最適化等、ソフト・ハードの両面から教育環境の向上に努めています。今後も「良き家庭教育」、「良き社会教育」との協働を図りながら、学校教育環境の更なる充実を目指していきます。

「環境が人をつくる。」の言葉のとおり、良き環境が良き子供たちを育み、良き子供たちが良き大人へと成長し、良き地域の担い手となっていくものと信じます。そして更には、様々な環境問題をはじめ、地球規模の問題解決に向け多様な人々と協働して創造的に取り組むことができる、持続可能な社会の創り手へと成長しゆく子供たちの姿に思いを馳せつつ、今月の環境月間を過ごしていきたいと思っています。